

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	赤 星 病	胴 枯 病	枝 枯 病	黒 斑 病	紅 粒 が ん し ゆ 病	黒 星 病	輪 紋 病	白 紋 羽 病	炭 疽 病	腐 ら ん 病	心 腐 れ 症 (<small>胴枯病菌</small>)	う ど ん こ 病	褐 色 斑 点 病
アグロケア水	生物農薬	BM2		1	-						◎							
エコショット顆水	生物農薬	BM2		1	-				◎		◎							
ボトキラー水	生物農薬	BM2		*i	-						◎							
I Cボルドー48QFL	無機	M1		*g	-						◎							
I Cボルドー412FL	無機	M1		-	-							◎						
石灰硫黄合剤	無機	M2		*c	-						◎							
フルピカFL	AP	9		21	5						◎							
ユニックス顆水47	AP	9		21	3				◎		◎							
アンビルFL	DMI	3		7	3	◎					◎		◎					◎
インダーFL	DMI	3		7	3	◎					◎		◎					◎
オーシャイン水	DMI	3		1	5	◎			◎		◎							◎
オーシャインFL	DMI	3		1	5	◎					◎							
オンリーワンFL	DMI	3		1	3	◎			◎		◎	◎						◎
サルバトールME液	DMI	3		21	3	◎					◎							◎
サンリット水	DMI	3		7	3	◎					◎							◎
スコア顆水	DMI	3		14	3	◎			◎		◎	◎						
トリフミン水	DMI	3		1	3	◎					◎							◎
マネージDF	DMI	3		21	3	◎					◎							
ルビゲン水	DMI	3		30	3	◎												◎
アミスター10FL	Q○I	11		1	5				◎		◎	◎		◎				◎
スクレアFL	Q○I	11		1	3		◎				◎	◎				◎	◎	◎
ストロビーDF	Q○I	11		1	3				◎		◎	◎		◎				◎
ファンタジスタ顆水	Q○I	11		1	3				◎		◎	◎		◎		◎		◎
フリントFL25	Q○I	11		1	4							◎						
アフエットFL	アミド	7		1	3	◎					◎							◎
オルフィンFL	アミド	7		1	3				◎		◎							
バシタック水75	アミド	7		60	5	◎												
フルーツセイバーFL	アミド	7		1	3	◎			◎		◎							◎◎
ポリオキシシンAL水	抗生物質	19		7	5				◎									◎◎
ロブラール水	ジカルボキシイミド	2		14	5				◎									
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		1	6		◎				◎	◎			◎	◎	◎	
			*a	1								◎						
			*j	1										◎				
トップジンMベースト	ベンゾイミダゾール	1		*d	3		◎		◎	◎		◎		◎				
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		1	4		◎				◎	◎					◎	◎
			*f	2		マ	マ											
アントラコール顆水	有機硫黄	M3		45	4		◎			◎								
			*a	1						◎								
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		30	5	◎					◎	◎						
チオノックFL	有機硫黄	M3		30	5	◎			◎		◎			◎		◎		◎
トレノックスFL	有機硫黄	M3		30	5	◎			◎		◎			◎		◎		◎
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		30	5	◎			◎		◎	◎						
オキシンドー水80	有機銅	M1		3	9				◎		◎	◎						
キノンドーFL	有機銅	M1		3	9				◎		◎	◎						◎

ナシ

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	赤 星 病	胴 枯 病	枝 枯 病	疫 病	黒 斑 病	紅 粒 が ん し ゆ 病	黒 星 病	輪 紋 病	白 紋 羽 病	炭 疽 病	腐 ら ん 病	心 腐 れ 症 (胴 枯 病 菌)	う ど ん こ 病	褐 色 斑 点 病
ドキリンFL	有機銅	M1		3	9					◎		◎	◎						
バッチレート塗	有機銅	M1		*d	3		◎												
アリエッティ水	有機リン	P7		14	3			◎	◎			◎							
オーソサイド水80	他	M4		3	9	◎		◎				◎			◎				
カナメFL	他	7	劇	1	3	◎		◎		◎		◎	◎						
ダコニール1000FL	他	M5		45	3					◎		◎							
デランFL	他	M9	劇	60	4	◎		◎	◎			◎	◎		◎		◎		
パレード15FL	他	7		1	2	◎				◎		◎						◎	
フジワン粒	他	6		*e	2									◎					
フロンサイドSC	他	29		30	1					◎		◎	◎	◎					
プロバティFL	他	50		3	3													日	
バルケートFL	他	M7		14	5					◎		◎	◎					◎	
ランマンFL	他	21		3	3			日											
オルフィンプラスFL	DMI・アミト [®]	3・7		1	3	◎				◎		◎	◎					◎	◎
アスパイア水	DMI・有機硫黄	3・M3		30	3							◎							◎
テーク水	DMI・有機硫黄	3・M3		30	3														◎
ナリアWDG	QoI・アミト [®]	11・7		1	3					◎		◎	◎		◎			◎	
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・M1		*b	2							◎							
ラビライト水	ベンゾイミダゾール・有機硫黄	1・M3		45	3					◎		◎	◎						
ホームマイコート水	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*a	1							◎							
セルカディスDFL	他・AP	M9・7	劇	60	3	◎				◎		◎	◎						
ポリバリン水	他・抗生物質	M7・19		14	3					◎		◎	◎					◎	
キャブレート水	他・ベンゾイミダゾール	M4・1		7	4							◎	◎						
バルクガード水	他・有機硫黄	M7・M3		45	4					◎		◎	◎						
アルタベールFL	他・有機銅	NC・M1		*a	9					◎		◎							
オキシラン水	他・有機銅	M4・M1		3	9					◎		◎	◎		◎				◎
アリエッティC水	他・有機リン	M4・P7		14	3					◎		◎							
ダイパワー水	他・他	M7・M4		14	4					◎		◎	◎		◎			◎	

*a:休眠期 *b:収穫後(10~11月) *c:発芽前

*d:剪定整枝時及び病患部削り取り直後、及び病枝切除後(ゆ合促進) *e:落花直後まで

*f:3~6月 *g:収穫後~開花前 *i:発病前~発病初期 *j:植付前

m:マシンプ油乳剤で希釈塗布 苗:苗木 日:日本ナシで登録

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒害性	使用時期(回数)	※適用品等類	アザノキイロアザミウマ類	アブラムシ類	カイロムシ類	ナシキジラミ類	ナシグンバシ類	カメムシ類	ナシホソガガ類	ナシチソガガ類	シンクイムシ類	ハマキムシ類	ケムシ類	スカタムシ類	ヒメボクトウ類	カミキリムシ類	キクイムシ類	ハダニ類	ニセナシサビダニ	その他害虫																		
																								UN	*e-日	*e-日	*e-日	*e-日	*k-	1	*b-	*a-	*b-	*b-	*b-	*h-	-	15	16	15	15
ジャックポット顆水	B T	11A	*e-	日											◎																										
チューレックス顆水	B T	11A	*e-	日											◎																										
デルフィン顆水	B T	11A	*e-	日											◎																										
ファイブスター顆水	B T	11A	*e-	日											◎																										
バイオセーフ	天敵生物	-	*k-														◎																								
コロマイト乳	マクロライド	6	1	1																	◎◎																				
アタックオイル	天然物由来		*b-					◎													◎																				
スピンドロン乳	天然物由来		*a-																		越																				
スプレーオイル	天然物由来		*b-					◎													◎																				
トモノールS	天然物由来		*b-					◎													◎																				
ハーベストオイル	天然物由来		*b-					◎													◎◎																				
			*h-																		◎																				
クムラス顆水	無機	UN	-																			◎																			
アタブロンSC	I GR	15	21	4											◎																										
アブロードFL	I GR	16	30	2				幼																																	
カスケード乳	I GR	15	14	2											◎							◎																			
デミリン水	I GR	15	30	3								◎◎																													
ノーモルト乳	I GR	15	1	2								◎◎◎																													
ファルコンFL	I GR	18	1	2											◎◎																										
マトリックFL	I GR	18	1	3											◎◎																										
ロムダンFL	I GR	18	7	3											◎◎																										
オリオン水40	カーバメート	1A	劇	3	2			◎◎						◎◎◎																											
マイクロデナポン水85	カーバメート	1A	劇	60	3	日		◎ク	◎				◎◎										ミ																		
カネマイトFL	殺ダニ	20B	1	1																	◎◎																				
サンマイト水	殺ダニ	21A	劇	21	1			◎													◎◎																				
スターマイトFL	殺ダニ	25A	1	1																	◎																				
ダニオーテFL	殺ダニ	33	1	1																	◎																				
ダニゲッターFL	殺ダニ	23	1	1																	◎◎																				
ダニコングFL	殺ダニ	25B	1	1																	◎																				
ダニサラバFL	殺ダニ	25A	1	2																	◎																				
ダニトロンFL	殺ダニ	21A	14	1																	◎◎																				
ニッソラン水	殺ダニ	10A	7	1																	◎																				
バロックFL	殺ダニ	10B	14	2																	◎																				
ピラニカ水	殺ダニ	21A	劇	14	1																◎◎																				
マイトコーネFL	殺ダニ	20D	1	1																	◎																				
モベントFL	殺ダニ	23	14	3				◎◎													◎◎																				
エクシレルSE	ジアミド	28	1	3				◎						◎◎◎◎																											
サムコルFL10	ジアミド	28	1	3										◎◎◎◎																											
テッパン液	ジアミド	28	1	2						◎				◎◎																											
フェニックスFL	ジアミド	28	1	2										◎◎◎◎							◎																				
ヨーバルFL	ジアミド	28	1	2										◎◎							◎																				

ナシ

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒毒性	使用時期(回数)	使用回数	※適用回数	アザミウマ	チャノキ	アブラムシ	カイガラムシ	ナシキジラミ	ナシグンバ	カメシロシ	ナシホシ	ハシホシ	ハシキムシ	ケムシ	スカタムシ	ヒメボクトウ	カミキリムシ	キクイムシ	ハダニ	その他害虫
ディアナWDG	ｽﾞｼﾞﾝ	5		1	2																		
アクタラ顆溶	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A		1	3				◎	◎	◎												
アドマイヤー顆水	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A	劇	*1	2				◎	◎													
アドマイヤー水	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A	劇	*1	2				◎	◎													
アルバリン顆溶	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A		1	3				◎	◎							◎						
アルバリン顆スタークル粒	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A		*1	1	苗			◎														
ダントツ溶	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A		1	3				◎	◎	◎						◎						
バリアード顆水	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A	劇	1	3				◎	◎							◎						
ベストガード溶	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A		14	3		◎	◎	◎	◎	◎												
モスピラン顆溶	ｽﾞｺﾁﾉｲﾄ	4A	劇	1	3				◎	◎													ヒ
アーデントFL	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A		1	3			◎															◎
アグロスリン水	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A	劇	1	3				◎				◎	◎	◎								セ
アデオン乳	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A		1	2				◎				◎	◎									
アデオンFL	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A		1	2				◎				◎	◎									
サイハロン水	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A	劇	7	3				◎				◎	◎	◎								
スカウトFL	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A	劇	1	5				◎				◎	◎	◎								
テルスター水	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A		1	2				◎				◎	◎	◎								◎
テルスターFL	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A	劇	1	2				◎				◎	◎	◎								◎
トレボン水	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A		14	3				◎				◎	◎	◎								
バイスロイドEW	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A	劇	7	2				◎				◎	◎									
ﾊﾞｰｶﾞｷﾝｸﾞｼﾞｬｰﾌﾞﾙ ロビンフッド	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A		1	5													◎	◎	◎			
マブリック水20	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A	劇	30	2				◎			◎	◎	◎	◎	◎							◎◎
ロディー水	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A	劇	1	2				◎				◎	◎									◎
MR. ジョーカー水	ﾋﾞﾞﾚｽﾛｲﾄ	3A		14	2								◎	◎	◎								
サイアノックス水	有機リン	1B		45	3	無			◎	◎													
				7	3	有			◎	◎													
スブラサイド水	有機リン	1B	劇	21	2	無			◎	◎			◎	◎	◎	◎							
				7	3	有			◎	◎			◎	◎	◎	◎							
スミチオン水40	有機リン	1B		21	6	無			◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
				14	6	有			◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
スミチオン乳	有機リン	1B		21	6	無			◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			ア
				14	6	有			◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			ン
ダイアジノン水34	有機リン	1B	劇	14	*c	有日			◎	◎			◎										
マラソン乳	有機リン	1B		14	*f				◎	◎							ナ	◎					◎
オレート液	天然物由来	-		*g	-				◎														
ウララD F	他	29		14	2				◎														
コテツFL	他	13	劇	1	3				◎														ハ◎ヨ
コルト顆水	他	9B		1	3				◎	◎	◎	◎	◎	◎									
チェス顆水	他	9B		14	2				◎														
トランスフォームFL	他	4C		1	3				◎	◎													

ナ
シ

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	※適用回数	ア	チ	ア	カ	ナ	ナ	ナ	ハ	ケ	ス	ヒ	カ	キ	ハ	ニ	セ
						ザ	ヤ	ブ	イ	シ	カ	ナ	シ	ハ	ケ	ス	ヒ	カ	キ	ハ	ニ
						ノ	ノ	ラ	キ	グ	メ	シ	ク	ム	カ	メ	キ	イ	ダ	シ	他
						イ	ロ	ム	ジ	ム	ホ	チ	イ	シ	シ	シ	リ	ム	ニ	サ	害
						ウ	ア	シ	ラ	シ	シ	ビ	シ	シ	バ	ト	ム	シ	ビ	ダ	虫
						マ	ザ	シ	シ	シ	シ	ガ	シ	シ	シ	ウ	シ	シ	ダ	ニ	
						マ	マ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
						マ	マ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
						マ	マ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
ハチハチFL	他	21A	劇	30	1			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							◎
ダニメツFL	殺ダニ・天然物由来	10B・-		14	2																◎
パーマチオン水	ピレストド・有機リン	3A・1B	劇	30	5			◎		◎	◎	◎	◎	◎							◎
トラサイドA乳	有機リン・有機リン	1B・1B		*d	*f																◎
アブロードエースFL	殺ダニ・IGR	21A・16		30	1				◎												◎
アルタパールFL	天然物由来・有機銅	・		*a	9				ク												◎

※適用品種等…無:無袋栽培 有:有袋栽培 日:日本なし 苗:苗木

- *a:休眠期 *b:発芽前
- *c: 6回以内(但し休眠期は1回以内) *d:4~7月(但し収穫21日前まで)
- *e:発生初期(但し収穫前日まで) *f: 5回以内(但し休眠期は1回以内)
- *g:発生初期~収穫前日まで *h:収穫後
- *i:収穫3日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)
- *j:6~7月(産卵初期~産卵最盛期直前)(但し収穫21日前まで) *k:幼虫発生期
- *L:育苗期

- ア:アメリカシロヒトリ
- ク:クワコナカイガラムシ
- コ:コナカイガラムシ類
- シ:アメリカシロヒトリ及びモンシロドクガ
- セ:アブラゼミ
- チ:チュウゴクナシキジラミ
- ナ:ナシヒメシンクイ
- ハ:ナミハダニ及びカンザワハダニ
- ヒ:カキノヒメヨコバイ
- フ:フタモンマダラメイガ
- ミ:ナシミハバチ
- ヨ:ヨモギエダシヤク
- ワ:ワタアブラムシ
- コ:コナカイガラムシ類若齢幼虫
- ナ:商品により「シンクイムシ類」または「ナシヒメシンクイ」で登録

幼:幼虫
越:ハダニ類及びその越冬卵

ナ

シ

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
赤星病	早春(ビヤクシン類)	・冬胞子堆膨潤前に次の薬剤をビヤクシンに散布する。 バシタック水和剤75 500～1000倍	病原菌はビヤクシン類で越冬し、翌春の第一次伝染源となる。
	4月上旬～5月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アンビルフロアブル● 1000～2000倍 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 スコア顆粒水和剤● 2000～4000倍 デランフロアブル 1000倍 バシタック水和剤75 500～1000倍 トレノックスフロアブル 500倍 マネージDF● 6000～8000倍	降雨直前に散布すると効果が高いが、散布不可能な場合は少なくとも降雨直後に散布する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
黒斑病	休眠期	1. ボケ芽、被害枝・果を除去処分する。 2. 次の薬剤を散布する。 アルタベールフロアブル 40～60倍	二十世紀、新水は弱く、長十郎、幸水等は強い。
	4月上旬～10月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 キノンドーフロアブル1000倍 1000倍 スコア顆粒水和剤● 2000倍 ナリアWDG 2000倍 ベルコートフロアブル 1500倍 ポリオキシシンAL水和剤 1000倍 ポリベリン水和剤 1500～2000倍 ロプラール水和剤● 1000～1500倍	重点防除時期 6月中旬～7月上旬 8月下旬～9月下旬 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
黒星病	休眠期	1. 芽基部発病芽、病葉、病果を早期に除去処分する。 2. 落ち葉は有力な伝染源となるので必ず処分する。 3. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アルタベールフロアブル 40～60倍 石灰硫黄合剤 7倍	長十郎、幸水、豊水は弱く、二十世紀は強い。 石灰硫黄合剤はカイガラムシ類、ハダニ類に対しても防除効果が高い。

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(黒星病)	4～10月	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル●△ 1000～1500倍 オキシラン水和剤 500～600倍 キノンドーフロアブル 1000倍 スコア顆粒水和剤● 2000～4000倍 ストロビードライフロアブル ●▽ 3000倍 トップジンM水和剤● 1000～2000倍 ベンレート水和剤● 2000～3000倍 トレノックスフロアブル 500倍 ベルコートフロアブル 1500倍 マネーヅDF● 6000～8000倍 	<p>重点防除時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出蕾期 ～リン片脱落期 ・開花直前 ・収穫後 <p>収穫後の防除は、翌年の伝染源を抑制する上で特に重要である。</p> <p>●耐性菌を生じやすいので連用しない。</p> <p>△アミスター10は養分転換期(5月末まで)以前の散布は避ける。 ▽ストロビーは開花始めから落花30日後までの散布は避ける。</p>
輪紋病	休眠期	<ul style="list-style-type: none"> ・枝の病患部(いぼとその周辺)を削り取る。傷口にはトップジンMペーストを塗布する。 	<p>いぼ皮病ともよばれる。枝の密生をさけ、通風を良好にする。</p>
	萌芽前 4月上旬～ 9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・黒星病の項参照 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 キノンドーフロアブル1000 倍 オキシラン水和剤 500～600倍 スコア顆粒水和剤● 2000倍 デランフロアブル 1000倍 ベルコートフロアブル 1500倍 	
うどんこ病	7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル● 1000倍 アンビルフロアブル● 1000～2000倍 サンリット水和剤● 4000倍 ベルコートフロアブル 1500倍 ポリオキシンAL水和剤 1000倍 ポリベリン水和剤 1500倍 	<p>重点防除時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月下旬～9月上旬 <p>●耐性菌を生じやすいので連用しない。</p>

ナ

シ

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
疫病	4月中～	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通風を良好にし、草生栽培にすると有効である。 2. 発病葉、発病果はすみやかに園外へ除去する。 3. 排水を良好にし、地表面に水たまりがないようにする。 4. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 オースサイド水和剤80 1000倍 デランフロアブル 1000倍 	土壌伝染性の病害で、密植や清耕栽培で発生しやすい。 ツクサは疫病菌が潜伏しやすいので注意する。
白紋羽病	植付前 (苗木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発病のおそれのある苗木・成木は樹幹を中心に半径約1m深さ40cmまで掘り、フジワン粒剤を成木あたり3～5kg土壌混和し埋める。 2. 発生畑では、土壌消毒したのちに植え付ける(土壌消毒の項参照)。 3. 次の薬剤に根部を浸漬する。 トップジンM水和剤#1 500倍液 	未熟有機物の土壌埋め込みは発生を助長するので注意する。 発病樹は樹勢が回復するまで、果実をつけない。 #1 10分間
	休眠期	・根を露出し病患部を除去した後次の薬剤のいずれかを土壌灌注する。 トップジンM水和剤 フロンサイドSC 500倍(1樹あたり 50～1000) 1000倍(1樹あたり100～2000)	
クワコナカイガラムシ	11～3月 (休眠期)	・粗皮削りを行う。	粗皮削りを行わない老木はバンド数を多くする。 薬剤防除では白色のロウ物質が少ない孵化直後～若齢期の幼虫をねらう。 暗くて狭いところに好んで寄生する。 #1カイガラムシ類幼虫での登録 #2コナカイガラムシ類若齢幼虫での登録 #3コナカイガラムシ類での登録 #4カイガラムシ類での登録
	9月上旬	・バンド処理を行う。	
	5月上旬 ・7月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アプロードフロアブル#1 1000倍 オリオン水和剤40#4 1000倍 コルト顆粒水和剤#4 3000～4000倍 スプラサイド水和剤#4 1500～2000倍 ダイアジノン水和剤34#2 1000～1500倍 ダントツ水溶剤#3 2000～4000倍	

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ナシギジラ ミ	4月 (展葉期)	・次の薬剤を散布する。 スミチオン水和剤40△ 800～1000倍	若葉、果枝にうるこ 状に群生して吸汁す る。 △早生赤種などに薬害 のおそれがある。
アブラムシ 類	ナシノアブ ラムシ4月 上旬～6月 下旬 ユキヤナギ アブラムシ 4月中旬～ 8月 ワタアブラ ムシ5月下 旬～7月中 旬 ナシミドリ オオアブラ ムシ6月上 旬～8月上 旬	・次の薬剤のいずれかを散布す る。 アーデントフロアブル 2000倍 アディオソ乳剤 2000～3000倍 アドマイヤー水和剤*a 1000～2000倍 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 ウララDF 2000～4000倍 エクシレルSE 2500倍 オリオン水和剤40 1000倍 コルト顆粒水和剤 4000倍 サンマイト水和剤 1000～1500倍 スカウトフロアブル 1500～2000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 スミチオン水和剤40 △ 800～1200倍 ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 チェス顆粒水和剤 5000倍 バリアード顆粒水和剤 2000～4000倍 マブリック水和剤20 2000～4000倍 マイクロデナポン水和剤85 1000～2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍	早期発見につとめ、 発生初期に防除する。 ワタアブラムシは薬 剤抵抗性が発達してい る場合があり、薬剤の 効果が低いことがあ る。 *a露地栽培については 発芽期～開花期を除く △早生赤種などに薬害 のおそれがある。
ナシゲンバ イ	5月中旬 (幼果期) ・9月中旬 ～下旬 (収穫期)	・次の薬剤のいずれかを散布す る。 マブリック水和剤20 2000倍 マイクロデナポン水和剤85 1000～2000倍	成虫態で下草や落葉 下などで越冬する。

ナ

シ

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
カメムシ類	成虫 (7～9月)	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>MR. ジョーカー水和剤△ 2000倍</p> <p>アーデントフロアブル△ 2000倍</p> <p>アディオン乳剤△ 2000倍</p> <p>アルバリン顆粒水溶剤 2000倍</p> <p>スタークル顆粒水溶剤 2000倍</p> <p>スミチオン乳剤 1000倍</p> <p>ダントツ水溶剤 2000～4000倍</p> <p>テルスターフロアブル△ 3000～6000倍</p> <p>マブリック水和剤20△ 2000倍</p> <p>ロディー水和剤△ 1000倍</p>	△ハダニ類のリサーチ エンスを回避するため、果樹カメムシ類多 発年のみ使用する。
ナシノカワ ムグリ(ナ シホソガ)	6月下旬 ～7月中 旬・9月中 旬～下旬 (収穫後)	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>スプラサイド水和剤 1500倍</p> <p>ノーモルト乳剤 2000倍</p>	
ナシチビガ	5月中旬～ 下旬・7月 上旬～中 旬・8月上 旬・9月中 旬	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>スプラサイド水和剤 1500倍</p> <p>デミリン水和剤 2000～4000倍</p> <p>ノーモルト乳剤 2000倍</p> <p>パーマチオン水和剤 1000倍</p> <p>マイクロデナポン水和剤85 1000倍</p>	
ハマキムシ 類	4月下旬～ 8月中旬	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>エスマルクDF* 2000～3000倍</p> <p>オリオン水和剤40 1000倍</p> <p>カスケード乳剤 2000倍</p> <p>ダイアジノン水和剤34 1000～1500倍</p> <p>パーマチオン水和剤 1000倍</p> <p>マトリックフロアブル 1000～2000倍</p> <p>ロディー水和剤 1000～1500倍</p>	<p>春期の防除に重点を おく。</p> <p>*果樹類での登録 ミダレカクモンハマ キは樹肌、コカクモン ハマキは芽内に多く越冬する。5月中旬クワ コナカイガラムシのふ 化直後幼虫との防除を 併せて行う。 7月中旬以降コカク モンハマキ、チャハマ キなどが多くなる。</p>

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
シンクイムシ類	11～3月 (休眠期)	1. 粗皮削りを行う。 2. 被害芽を除去する。	
	5月中旬～ 6月上旬・ 6月中旬～ 下旬・7月 下旬・8月 月上旬～中 旬・9月上 旬	1. コンピューザーN*などのフェ ロモン剤を設置する。 2. 被害果を処分する。 3. 次の薬剤のいずれかを散布す る。 オリオン水和剤40 1000倍 サムコルフロアブル10 2500～5000倍 スプラサイド水和剤 1500～2000倍 ダイアジノン水和剤34 1000倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 ノーモルト乳剤 1000～2000倍 バリアード顆粒水和剤 2000～4000倍 フェニックスフロアブル 4000倍	*果樹類でモモシンク イガ、ナシヒメシンク イでの登録。フェロモ ン剤の項参照
ハダニ類	12～2月 (休眠期)	1. 粗皮削りを行う。 2. 機械油乳剤95*の16～24倍また はスピンドロン乳剤の50～100倍 を散布する。	*落葉果樹での登録
	越冬期(10 月)と春期 (3月) 4月下旬・ 5月下旬・ 7月上旬～ 8月上旬	1. 発生源となるので下草管理を徹 底する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布す る。 アーデントフロアブル 2000倍 カスケード乳剤 2000倍 カネマイトフロアブル 1000～1500倍 コテツフロアブル#1 2000～3000倍 サンマイト水和剤#2 スターマイトフロアブル 2000倍 ダニゲッターフロアブル 2000倍 ダニコングフロアブル 2000倍 ダニサラバフロアブル 1000～2000倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍	ハダニ類防除薬剤の 項を参照し、薬剤抵抗 性がつきやすいので同 一薬剤の連用をしな い。 #1ナミハダニ、カンザ ワハダニでの登録 #2ミカンハダニ 2000～3000倍 ミカンハダニ除く 1000～1500倍

ナ
シ

ナシ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(ハダニ類)	越冬期(10月)と春期(3月) 4月下旬・5月下旬・7月上旬～8月上旬	テルスター水和剤 1000倍 ニッソラン水和剤 2000～3000倍 バロックフロアブル 2000倍 ピラニカ水和剤 1000～2000倍 マイトコーネフロアブル△ 1000～1500倍 モベントフロアブル 2000倍	△新葉に葉害が生じるおそれがあるので7月1日以降に使用する。
ニセナシサビダニ	4月中～下旬・6月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 コテツフロアブル 2000～3000倍 サンマイト水和剤 1000～1500倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍	徒長枝先端付近の葉および枝に多く寄生する。 体長は0.2mm程度
その他の病害虫		アオマツムシ、カミキリムシ類、モンシロドクガ、果実吸蛾類、アブラゼミ、ニイニイゼミ、イラガ類、ゴマダラカミキリ、ヨモギエダシャク	